

群馬県議会だより 第104号

発行／群馬県議会 編集／県議会図書広報委員会
題字は高崎健康福祉大学高崎高等学校3年生 書道部 木内 眞緒花さんの書道作品です 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-4131 (政策広報課)

第1回定例会開催



国指定名勝 つつじがおか 躑躅ヶ岡(つつじが岡公園)(館林市)

100余品種 約1万株のツツジの花が咲き誇るつつじが岡公園は、国の文化財「名勝」に指定されています。毎年春には、同公園にて「つつじまつり」が開催されており、今年は4月8日(火)から5月6日(火)までです。

第1回定例会のあらまし

▶令和7年第1回定例会は、2月17日から3月19日までの31日間にわたって開催されました。

▶議案

2月17日には、知事から『こどもまんなか推進＆新産業創出加速予算』と銘打った総額8,078億円の令和7年度一般会計当初予算をはじめ、群馬県カスタマーハラスメント防止条例、群馬県ヤードにおける自動車等の適正な取扱いの確保に関する条例など103議案が提出されました。

また、3月19日には、教育長の選任に係る1議案が提出されました。議会からは、委員会提出議案として、意見書案1件、条例改正案1件の計2議案が発議されました。

▶質疑及び一般質問

5人の議員による代表質問と12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。(2、3面参照)

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。また、各特別委員会で付議事件に係る提言書をまとめました。(2面参照)

▶議決

議決は、2月17日、3月7日及び3月19日に行われました。知事から提出された104議案は、全て可決・同意・承認されました。

議会から発議された議案についても全て可決されました。また、4件の請願が採択されました。

▶可決された主な議案

○令和7年度群馬県一般会計予算

○群馬県カスタマーハラスメント防止条例

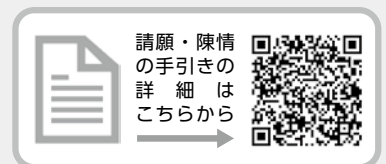
：カスタマーハラスメントの防止に関し、必要な事項を定めようとするもの

○群馬県ヤードにおける自動車等の適正な取扱いの確保に関する条例

：ヤードにおける自動車等の適正な取扱い等に関し、必要な事項を定めようとするもの

▶可決された意見書

○「手話に関する施策の推進に関する法律(仮称)」の早期制定を求める意見書



請願・陳情
の手引きの
詳細は
こちらから



代表質問

令和7年2月21日の各党(会)派代表による代表質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質問の中からピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK!



白熱議論を映像でご覧ください!

各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月21日(金) 自由民主党 (132分)



井下 泰伸 自由民主党 (伊勢崎市)

▶中小零細企業の賃上げ等への支援について

Q 物価高や人手不足により、経営に余裕がなくとも防衛的な賃上げを行わざるを得ない中小零細企業に県の支援が必要と考えるがどうか。

A 知事 30億円の予算を投じた新たな施策「ぐんま賃上げプロジェクト」を実施する。令和7年4月以降に5%以上の賃上げをした中小企業等に、最大100万円の支援金を給付し、将来への投資として大胆に賃上げする企業の挑戦を応援する。また、下請け企業が価格交渉しやすい環境整備も進める。中小企業の稼ぐ力を強化し、「賃金と消費の好循環」を作り出し、「県民幸福度の向上」の実現を目指してまいりたい。

▶ヤード^(※1)条例制定に向けた知事の決意について

Q 県民の不安感の高まりへの対応として、ヤード設置の規制が必要と考えるが、ヤード条例制定に向けた知事の決意を伺いたい。

A 知事 ヤードの増加に伴う不安感には様々な原因があり、軽減には幅広い対応が必要である。条例制定の検討において、生活環境への影響については、国で現在検討している廃棄物処理法改正等による制度的措置や関連法令との整合に留意した内容とする必要がある。これらを踏まえ、有効な規制の骨子案について県議会のご意見もいただきながら、条例制定に向けてしっかりと進めてまいりたい。



伊藤 清 自由民主党 (安中市)

▶上毛かるたについて

Q 「やるぞ!バズるぞ!上毛かるたプロジェクト」について、知事の想いを伺いたい。

A 知事 昨年実施した県民アンケートでは、上毛かるたの読み札をそらで、ほとんど言える県民が約半数という結果に衝撃を受けた。上毛かるたは、群馬県民のアイデンティティの根幹を形作ってきたものである。このプロジェクトでは、上毛かるた競技県大会の優勝チームのメンバーが考えた夢を叶える企画などを実施し、上毛かるたを次の世代へと継承していくことに力を尽くしたい。

つる舞う (46分)



金子 渡 つる舞う (渋川市)

▶介護現場の生産性向上について

Q 介護ロボット等の導入に関する県の支援状況と、令和7年度に設置予定の介護生産性向上総合相談センター(仮)について伺いたい。

A 福祉局長 介護人材の不足が見込まれる中、増加する介護ニーズに適切に対応していくには、介護現場の生産性向上が重要である。介護ロボット等導入支援に集中的に取り組むため、本議会に3億9千万円の予算を計上した。また、令和7年度にワンストップの相談・支援窓口である介護生産性向上総合相談センター(仮)を設置し、介護現場の取組をサポートすることで全県的な生産性向上を強力に推進する。

▶職員の適正な人員配置と人材の確保について

Q 県民の生命と健康、暮らしを守る施策に取り組むために必要な職員の配置及び人材の確保について、県の考えを伺いたい。

A 総務部長 事業の見直しにより人員を捻出し新規・重点施策に振り向けることを基本としつつ、必要な範囲で増員するなど、各部局と丁寧に議論し適正な配置を検討している。人材確保では、特に獣医師などの技術職種で人材確保競争が激化している。このため令和7年度の試験から獣医師の試験において教養試験を廃止するなど、より多くの方が受験しやすい制度改革を行う。今後も現場の声に耳を傾け、適正配置及び人材確保に努めていく。



本郷 高明 リベラル群馬 (前橋市)

▶救急安心センター(#7119)^(※2)について

Q 事業の導入に至った経緯及び期待する効果について伺いたい。

A 危機管理監 他県において導入が進み、導入地域の住民アンケートで「役に立った」との回答が多かったことなどから、群馬県でも導入することで県民の安心・安全に資することになると判断し、予算計上した。効果としては、脳卒中や心疾患などの重症化する恐れがある傷病者に対して、相談を受けることにより、適正な救急搬送につながる事が期待できる。令和7年10月からの事業開始を予定している。

公明党 (39分)



水野 俊雄 公明党 (前橋市)

※1 ヤード…有償取引される金属スクラップ等の保管・作業を行う事業場。設置等に係る法令の規制がなく、一部での盗難等犯罪との関わりや生活環境への影響が問題化している
※2 救急安心センター(#7119)…急な病気やけがをしたとき、救急車を呼ぶべきか判断に迷った場合などに、看護師などからアドバイスを受けることができる電話相談窓口

活動紹介

特別委員会

約1年かけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月14日、知事あてに提言を提出しました。

■ 災害対応力強化に関する特別委員会

「災害対応力強化に関する提言」として、災害時の対応強化に関すること(医療・福祉含む)、防災・減災に関すること、災害レジリエンスの強化に関すること、県土強靱化に関すること、食料確保に関することなど、群馬県での大規模災害の発生を想定した災害対応力の強化に関する施策の推進に当たって取り組むべき41項目について提言しました。

■ スポーツ・文化の振興に関する特別委員会

「スポーツ・文化の振興に関する提言」として、スポーツの推進に関すること(eスポーツ含む)、湯けむり国スポ・全スポぐんまに関すること(施設整備含む)、健康増進に関すること、観光・温泉文化の振興に関すること、伝統文化の支援に関することなど、本県におけるスポーツ・文化の振興に対する施策の推進に当たって取り組むべき68項目について提言しました。

■ 循環型社会構築に関する特別委員会

「循環型社会構築に関する提言」として、ヤード問題やごみ問題などの廃棄物処理に関すること、再生可能エネルギー・グリーンイノベーションに関すること、森林資源の活用に関すること、有機農業等の環境負荷低減・資源循環型農業に関すること、物価高騰対策に関することなど、持続可能な循環型社会構築に関する施策の推進に当たって取り組むべき24項目について提言しました。

■ 次世代産業・人材確保に関する特別委員会

「次世代産業・人材確保に関する提言」として、次世代産業(デジタル・クリエイティブ産業)の振興に関すること、人材の確保・育成に関すること、交通イノベーションに関すること、人口減少対策・子育て支援に関すること、教育(非認知能力の育成、インクルーシブ教育)に関すること、多様性社会に関することなど、次世代産業の振興や人材確保に関する施策の推進に当たって取り組むべき35項目について提言しました。



群馬交響楽団

フルオーケストラ議場演奏



群馬交響楽団による議場演奏

第1回定例会の恒例となっている、県議会の本会議場をステージにした群馬交響楽団の「議場演奏」が、開会日の2月17日に行われました。

今年はフランツ・フォン・スッペ「喜歌劇《軽騎兵》序曲」や、ジャン・シベリウス「祝祭アンダンテ」など3曲が演奏され、議員のほか、傍聴に訪れた約70人の皆さんも聴き入りました。

「議場演奏」は、昭和32年3月定例会において、初めて演奏されて以来、今回で60回目となりました。

質疑及び一般質問

令和7年2月25日、27日、28日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。
各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月25日 (火)



大林 裕子 自由民主党
(北群馬郡)



▶ 県立小児医療センターの移転整備について

移転に向けて群馬大学医学部附属病院との役割分担や連携が十分に機能するために、環境整備が必要であるが、どのように考えているか。

A 病院局長

群馬大学医学部附属病院と2病院で「総合周産期母子医療センター」の指定を受けることで、成人診療科との連携による県内小児周産期医療の強化を目指す。将来的には2病院を上空通路で接続し、患者動線の向上やスタッフの自然な交流の実現に向けて調整していく。総合病院との隣接効果を活かし、子どもの頃からの疾患を抱えたまま成人期に達した患者への対応など、課題解消に向けた取組を進めてまいりたい。



加賀谷 富士子 リベラル群馬
(伊勢崎市)



▶ 県営住宅について

県営住宅の入居待ちの状況はどうか。また、老朽化が進んでいるものが多いと聞いているが、今後の修繕の方向性について伺いたい。

A 県土整備部長

令和7年2月10日現在、入居待ちは246名で、多くは退去待ちの特定の住戸を希望し、そのうち84名は修繕完了待ちの状況であるが、今年度内に全ての修繕に着手できる見通しである。新たな県土整備プランでは、維持管理分野の優先投資を掲げ、社会資本ストックの適切な維持管理に取り込むこととしている。財政の健全性の確保を念頭に、投資総額を適切にマネジメントしつつ、計画的に修繕できるよう努めてまいりたい。



水野 喜徳 自由民主党
(吾妻郡)



▶ こんにゃくの消費拡大対策について

生産者団体では独自のPR活動を行っているが、県はどのような消費拡大対策を考えているのか。

A 農政部長

食生活の多様化により、こんにゃくの消費が減少している。これを転換させるため、県内の飲食店や宿泊施設に「お通し」等でこんにゃく料理を提供していただく「こんにゃく消費県民運動」を実施する予定である。また、ぐんまちゃんの型を活用した「こんにゃく手作りキット」の配布を通じ、親子で楽しみながら続けられる消費促進活動につなげたいと考える。今後も消費拡大に向けて全力で取り組んでまいりたい。



酒井 宏明 日本共産党
(前橋市)



▶ 生活保護事務の監査指導の強化について

桐生市の生活保護担当職員が刑事告発されたことを踏まえ、県として福祉事務所への監査指導をより強化すべきと考えるがどうか。

A 福祉局長

桐生市に対して実施した特別監査で得られた知見を踏まえ、今年度の監査から福祉事務所に対する監査指導を強化している。具体的には、権利侵害が生じやすい場面の検査数を大幅に増やすとともに、要保護者への権利侵害が生じていないか、生活の維持ができていないか等について、丁寧に確認している。引き続き、県内における生活保護業務が適正に実施されるよう、取り組んでまいりたい。

2月27日 (木)



秋山 健太郎 自由民主党
(太田市)



▶ 太田市中心市街地の渋滞対策について

太田市中心市街地におけるライブカメラを活用した渋滞対策の取組状況について伺いたい。



A 県土整備部長

国道407号に設置されたライブカメラの画像から車両の動きや間隔などをAIで解析し、検知した渋滞情報をリアルタイムで道路利用者に提供することにより、市街地を目的地としない車両に迂回を促し、渋滞緩和を図る社会実験を令和7年4月に実施する。今後は、本社会実験の結果を分析・検証しつつ、デジタル技術の活用を積極的に進めることで、効率的かつ効果的な渋滞対策を講じてまいりたい。



宮崎 岳志 群馬維新の会
(前橋市)



▶ 群馬県民会館について

県と前橋市との協議を実効性のあるものにするため、改修費用について県が協議のたたき台となる複数の試算を示すべきと考えるがどうか。

A 地域創生部長

建築から50年以上が経過し、施設全体が老朽化している。県民に安心・安全に活用してもらうためには、耐震補強、老朽化した設備の更新、法令適合に向けた改修、バリアフリー対応などの施設全体の改修が必要不可欠である。50億円以上という改修費の試算があるが、これは現在の施設を存続するために必要な金額である。現時点では前橋市から存続に対して強い要望がない中で、改善案の提案は不要と考えている。



中島 豪 自由民主党
(高崎市)



▶ 県産農産物のプロモーション活動について

県産農産物のブランド化対策の一つとして、G-アナライズ&PRチーム^(※3)による活動を行っているが、実績と今後の取組について伺いたい。

A 農政部長

これまで、やよいひめなど県を代表する9品目について、科学的根拠に基づき、特徴と魅力をPRしてきた。新たな取組「県産農産物の粉末化プロジェクト」では、栄養成分の濃縮化等のメリットを活かし、用途拡大と付加価値の向上を目指す。引き続き、県産農産物の認知度を高めるとともに「群馬＝健康」というブランドイメージ向上に取り組み、農業者の所得向上につながるよう努めてまいりたい。



丹羽 あゆみ 自由民主党
(みどり市)



▶ 女性にとって魅力のある地域について

女性が地域に求めるものは、「人とのつながり」であるという調査結果があるが、知事の思いを伺いたい。

A 知事

調査では、女性からは、人が集う場、楽しむ場が地域に求められている。人を引きつける魅力を持つために、他にはない価値を持つことが必要であり、若者を引きつける「デジタル・クリエイティブ産業」、世の中を動かす力のあるエンターテインメントが重要である。また、誰もが活躍できる社会の実現も必要である。わくわくするような群馬県を創り、県民の幸福度向上のため、全身全霊で取り組んでまいりたい。

2月28日 (金)



狩野 浩志 自由民主党
(前橋市)



▶ 北朝鮮による拉致問題について

県警察のホームページに掲載されている、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない県内3人の方の捜査・調査をどのように行っているのか。

A 警察本部長

具体的な捜査・調査の内容に係る事柄については、これを明らかにした場合、今後の警察活動に支障を及ぼすおそれもあることから、回答を差し控えるが、捜査活動を通じて把握した情報や捜査の経過等については、捜査に支障のない範囲で、可能な限りご家族に対し説明をしている。3人の方について北朝鮮による拉致と断定するには至っていないが、粘り強く関連情報の収集、捜査・調査に全力を挙げてまいりたい。



安孫子 哲 安政会
(前橋市)



▶ 「世界希少・難治性疾患の日(RDD)^(※4)」の啓発活動について

2月28日は「世界希少・難治性疾患の日(RDD)」であり、足利市ではライトアップが実施されている。群馬県では啓発活動をどのように考えているか。

A 知事

「RDD」にちなんだ建物のライトアップは、難病に対する社会全体の理解を深めるための意義のある取組である。本日(2月28日)から3日間、昭和庁舎をRDDのイメージカラーである青、ピンク、緑の3色でライトアップすることとした。この取組が難病患者にとって心の支えとなり、県民が難病への理解を深める契機となることを願う。今後も難病に苦しむ患者やその家族に寄り添ってまいりたい。



亀山 貴史 自由民主党
(桐生市)



▶ 私立高等学校の授業料支援について

令和7年度当初予算において支援を拡充した、私立高等学校授業料支援事業補助金について、事業の狙いと事業規模を伺いたい。

A 生活こども部長

国の就学支援金制度では、年収目安590万円以上になると支援金が大幅に減少するため、県単独で上乗せ補助を行っている。現在、年収目安590万円以上910万円未満の世帯に対して補助を行っているが、このうち年収目安590万円以上720万円未満の世帯に対する補助を拡充し、経済的負担を軽減する。国における無償化を待たず、県としての施策を速やかに実施し、子育て世帯への支援に努めてまいりたい。



星名 建市 自由民主党
(渋川市)



▶ 群馬県の拠点性と魅力について

人口減少が続く中、都道府県域を越えた連携が必要と考える。隣接県と連携した場合、群馬県は中核を担う位置にあると考えるが、拠点性と魅力について伺いたい。

A 知事

群馬県は、上越新幹線、関越自動車道などによる近県へのアクセスの良さ、関東一少ない地震発生回数、豊かな自然など、拠点性のポテンシャルは極めて高い。知事に就任以降、群馬モデルにより日本を変えようと、情報発信をしてきたのは、このポテンシャルを高めるためである。令和6年の移住希望地ランキングで1位を獲得するなど結果も出ている。常に選ばれ続ける群馬県にしていきたい。

※3 G-アナライズ&PRチーム…県産農産物の成分を分析し、科学的根拠に基づき、その魅力をPRする知事直轄の組織
※4 RDD…Rare Disease Day の略で、世界希少・難治性疾患の日。希少・難治性疾患患者の生活の質の向上を目指す活動を実施

若者の政治への関心を高める取組

県議会だより題字揮毫 感謝状贈呈式が行われました



県議会広報紙「群馬県議会だより」では、平成23年の第50号から、若者に政治への関心を持ってもらうきっかけとするため、表紙の題字を高校生に揮毫していただいています。3月14日に、令和6年度に発行した第100号から第103号の題字を揮毫した生徒及び高等学校に、須藤和臣県議会議長の感謝状を贈呈しました(贈呈は、相沢崇文図書広報委員長)。贈呈後の相沢委員長との懇談では、普段の部活動の様子や、学校生活で取り組んでいることなどが話題となり、その後、議場等を見学していただきました。



左から木村さん、古川さん、長嶺さん、相沢委員長 ※佐藤さんは都合により欠席



★★★ ご協力ありがとうございました! ★★★

第100号	群馬県立前橋西高等学校	3年 長嶺 夏葉さん
第101号	群馬県立高崎工業高等学校	2年 古川 美侑さん
第102号	群馬県立伊勢崎清明高等学校	2年 木村 唯莉さん
第103号	高崎市立高崎経済大学附属高等学校	2年 佐藤 祐菜さん

※題字掲載時の学年

議員に密着ゼミナール ～もっと知りたい政治のハナシ～



昨年12月19日に、県議会議員が大学に出向いて学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

高崎経済大学地域政策学部の「現代政治論」の授業に3人(写真左から井下泰伸議員、大林裕子議員、鈴木数成議員)の

議員が参加し、「群馬県の地域課題」などをテーマに、241人の学生と熱心に意見を交わしました。

学生からの「大規模店舗の郊外への進出により中心市街地が衰退したが、進出をどのくらい規制するのがよいか」という質問に、議員は「大規模店舗が郊外に進出する流れを止めることはできないが、皆さんのライフスタイルに合った街づくりへと目標をずらしながら地域を再生させていくことは可能だと思っている」と応じていました。



群馬県議会公式Instagramを開設しました!

令和6年度の図書広報委員会では、県議会の新たな情報発信としてInstagramの導入を検討し、令和7年3月11日に群馬県議会公式Instagramを開設しました。

X・Facebookと併せて、県議会のさまざまな情報を発信してまいりますので、ぜひフォローをお願いします!

Instagram



議員異動のお知らせ

丹羽あゆみ 議員 創生会 → 自由民主党 (令和7年2月1日)
穂積昌信 議員 自由民主党 → 辞職 (令和7年2月17日)

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

令和7年第2回定例会のご案内

会期は5月22日から6月13日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。

また、本会議・委員会は、議事堂にお越しいただければ傍聴することができます。

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
5月22日	木	本会議 (開会・提案説明)	6月5日	木	常任委員会
28日	水		6日	金	
29日	木	本会議 (質疑及び一般質問)	10日	火	特別委員会
6月2日	月		13日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります(開会はおおむね午前10時からです)

県議会中継

テレビ 群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

インターネット 県議会ホームページ【議会中継】
(生中継・録画)

本会議(全日程)をご覧ください。



スマートフォンでの
視聴はこちらから↑

Information

県議会だより電子書籍版(カタログポケット)は、スマートフォンや、タブレット端末等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。閲覧方法は、こちらからご確認ください。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索
県議会の最新情報は公式 SNS でも発信しています。



Facebook



群馬県議会YouTube

群馬県 YouTube 公式チャンネル tsulunon



- 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和7年7月6日(日)発行予定です
- 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください

☎ 027-226-4131 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp

編集後記

【図書広報委員長 相沢 崇文】

図書広報委員会は、県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、「群馬県議会だより」を年4回発行しています。

また、令和6年度は、これまでの公式SNS「X」・「Facebook」に加え、「Instagram」を開設しました。

このほかにも、ホームページ、群馬テレビやエフエム群馬などを通して、様々な議会活動をお伝えしてきました。

今後も、より一層「開かれた県議会」を目指し、積極的に広報に取り組んでまいります。



図書広報委員会 構成委員

委員長：相沢 崇文 副委員長：矢野 英司

委員：加賀谷 富士子、松本 基志、

栗野 好映、須永 聡、鈴木 数成、

松本 隆志、清水 大樹、中島 豪